



一般ガード (製品のみ)

高天井用(LED用)ガード

# 金属加工を通じて、 お客様に信頼される仕事をし続けます

## フジテック 株式会社

### 事業内容と沿革

#### 創意工夫を持って 課題を解決

現社長の父である藤原義治氏が創業した。大手電器メーカーを退職し、それを機に藤原製作所(現フジテック)を立ち上げた。当初は電気オルガンのスイッチ製造・組立が主な仕事であったが、数年後、「退職した会社に縁があり、仕事を頂けるようになった」と藤原敏社長は語る。

義治氏は自由な発想で課題を解決し、取引先からも評判が高かった。例えば18もの工程があったプレス加工に電車のレールを活用。平行出しを簡素化し金型製作へ応用し大幅な工程短縮を実現した。「社内で無言でほうき掃きしている姿が印象に残っているが、あれはただの掃除ではなく、なにか課題解決のアイデアを一心不乱に考えていたのだと思う」と藤原社長は振り返る。電車のレールを使って金型の反りをなくした技術を確立した不屈の精神は今日も同社を支えている。照明器具の吊り具は天井高く吊り下げられることも多く、不良品は出せない。ちなみに昨年もLED器具組立工程において出荷検査不合格ゼロを達成している。問題が発生した場合、その場しのぎ的な解決策ではなく、創意工夫を持って対策に当たり、具体的な解決策を導き出している。このような社風こそが確実な生産管理体制を築き上げている。

### 強み

#### 途切れることのない 社内改善活動

強みは何といっても大手電器メーカーに長年納入してきた実績にある。現在でもパイプ・チェーン・ワイヤー金物に関しては30種を超える製品を一手に引き受けている。大手企業に納入するにあたっては高い品質管理が求められる。昭和52年より破損から守るガードの生産も開始したが、現在では「このガード部品の品質に関しては中国で生産されている他社製品に間違いなく勝っていると思う」と藤原社長は自信を見せる。昭和56年には大手電器メーカーの品質優良工場に、昭和60年にはTQC(トータルクオリティコントロール)優良協力会社に認定されている。近年でも社内改善活動に余念がなく、ISO14001を取得し、「限りある資源を大切に」という環境理念を基に、環境保全の取り組みにもはげんでいる。勤続が50年を超える大ベテラン社員が現役で活躍しており、他社にはない技術の積み重ねがある。技能伝承が今後の大きな課題となるが、単純にマニュアル化するのではなく、「現場でしかわからないことが多い。ベテランと若手が現場で話し合いを重ね、築き上げてきた技術を継承していきたい」と藤原洋常務は次世代の活躍に期待を寄せる。



作業風景



作業風景



社屋



作業風景

使用中

標示灯

金属加工を通じて、  
お客様に信頼される仕事をし続けます



代表取締役  
藤原 敏 さん

創業以来、大手家電メーカーの協力会社として皆様の生活に役に立つ製品を作り続けてきました。製作しているのは学校・駅・病院・マンション・体育館などの施設で照明を吊り下げるための器具や、照明器具を覆い破損から守るガード部品など、皆様が毎日どこかで目にする商品です。「どんなに難儀なことでも“根気”と“元氣”そして“活気”を持って行えば打ち勝つことができる」を指針とし、カドマイスター認定企業として信頼される企業を目指しています。

#### 主な事業内容

照明器具部品(吊具・ガードなど)・  
他金属部品の製造・組立

#### 主な取引先(納入先)

大手電器メーカー

【住 所】〒571-0002 大阪府門真市岸和田2-2-23

【T E L】072-881-5401

【F A X】072-885-1773

【創 業】昭和35年5月 【設 立】昭和39年9月

【資本金】2,000万円 【従業員】36名

企画・  
提案

試作・  
受託

短納期  
対応

多品種  
少量

量産  
対応

コスト  
相談

オンリー  
ワン

海外  
対応

### カドマイスターの取り組み

#### 人を育てる 人に育ててもらおう

社員の60%が女性。「企業は人なり」というが、まさにそれで、うちで働くことに喜びを見つけてもらえれば」と藤原社長は従業員への気遣いも忘れない。毎年、インフルエンザが流行する時期になると会社まで予防接種を行う医者呼び、従業員に接種してもらう。もちろん経費は会社負担。毎日働いてもらう従業員こそ会社の財産との考えによるものである。また60歳定年の制度があるが、健康が大前提であるが業務に支障がないかぎり協議のうえ現場の仕事が続けることができる。最近では持ち場のローテーションも行い、組立業務だった者が出荷業務に、出荷業務の者が品質管理を担当するといったように、お互いの業務を理解し合い今後の職務に生かす取り組みも進めている。「この業務のローテーションは3ヵ月で効果が出てきている」と藤原常務は手ごたえを感じている。今後は幅広い分野から積極的に人材を採用し、働いている社員の子供たちが誇りをもてる会社づくりを目指す。

### 今後の展開

#### 長年培った技術を 幅広く展開

「現在わが社は変革期の真っただ中にある。大手企業から生産を受注するだけではなく、培ってきた技術で新たな展開を模索している」と藤原社長は語る。手がけてきた製品は病院・体育館・学校など、一般向け商材ではなく、オーダー数が1台から100台といった多品種・小ロット製品。まさに現在のものづくりの世界で展開されている多品種・小ロットの流れを長年実践してきたことになる。調達→成形→組立→検査→出荷の流れを社内構築していることは強みで、現在のものづくりの流れを考えれば追い風になるといえる。異業種交流会などにも積極的に参加し、新たな展開に期待を寄せる。「女性に活躍してもらえぬ職場づくりをやりたい夢がある」と経営理念「信頼される仕事をして、幸福になろう」を実践していく。

